



## 茨木っ子カ ルーブリック

茨木っ子カのルーブリック（評価基準を観点と到達段階からまとめた表）を作成しました。教職員や保護者、周りの大人が、子どもたちの様子や活動を見取る際の目安として活用していきます。

ただ、「ステップ1ができればステップ2になる」とか「3年生ではステップ2、だから4年生ではステップ3になる」というものではありません。その時々や活動内容や子どもの気持ちによって、到達は変わるもの。また、低学年でステップ4になったり、中学生であってもステップ1になったりする場合もあるものと考えています。

大切なのは、長い目で見たときに、螺旋階段のように、一人ひとりの子どもたちの到達度が少しずつステップアップすることだと考えています。

### 茨木っ子カ ルーブリック

ゆめ力			
定義	未来に向かって、努力できる力		
目指す姿	夢や目標をもつことができる (目標設定)	夢や目標に向けて挑戦することができる (チャレンジ)	あきらめず最後まで取り組むことができる (継続・レジリエンス)
ステップ4	夢や目標を実現するためにやるべきことが分かっている	実際に課題を解決する中で夢や目標に近づくことができている	途中で失敗や困難が多くても最後まで取り組みむことができている
ステップ3	具体的な夢や目標を持つことができている	夢や目標に向けてより具体的な課題に挑戦できている	途中で失敗や困難が少なければ最後まで取り組むことができている
ステップ2	抽象的ではあるが、夢や目標を持つことができている	夢や目標を意識した特定の課題に挑戦できている	途中であきらめたとしても、一定期間持続して取り組むことはできている
ステップ1	夢や目標を持つことに意味があることを理解できている	夢や目標のためには挑戦しなければ始まらないことを理解できている	夢や目標のためにあきらめないことが大切だと理解できている
育むために	ゆめ力を高めるために、自分らしい夢や目標を持つことの大切さを伝えたり、結果ではなく、がんばっている姿や行動を認めてあげることが大切です。		

自分力			
定義	自分と向き合い、高める力		
目指す姿	自分のことを肯定的にとらえることができる (自尊心・自己有用感)	自分の感情をコントロールすることができる (自己抑制)	自分の考えや判断に自信を持つことができる (自信)
ステップ4	人の役に立っている自分のことを肯定することができている	場面に応じて感情のコントロールができている	自信を持って、場面に応じた考えや判断ができている
ステップ3	自分がやってきたことを具体的に肯定することができている	いろんな場面で感情のコントロールができている	いろんな場面で自分の考えを持ち、判断ができている
ステップ2	自分自身を全体的に肯定することができている	感情が動きやすい特定の場面で感情のコントロールができている	考えや判断ができやすい特定の場面で自分の考えを持ち、判断ができている
ステップ1	自分自身を否定しないことができている	自分の感情の動きを自覚することができている	人の考えに頼りながら自分の考えを持ち、判断ができている
育むために	自分力を高めるために、子どもに行動の振り返りをさせたり、子どものことを大切にしているというメッセージを伝えることが大切です。		

つながり力			
定義	他者を思いやり、つながる力		
目指す姿	他者と協力して取り組むことができる (協力)	他者の意見や考えを受け入れることができる (リスペクト)	自分の考えや気持ちを他者に伝えることができる (コミュニケーション)
ステップ4	一緒に取り組む中で、お互いの強みを生かし弱みを補うことができている	自分と他者の意見や考えの違いからより良いものを生み出すことができている	自分の考えや気持ちを他者に配慮しながら伝えることができている
ステップ3	一緒に取り組む中で、お互いに思いや意見をやりとりし合うことができている	他者の意見や考えを受け入れることができている	自分の考えや気持ちを他者がわかるように伝えることができている
ステップ2	各自の思いが優先されているが、一緒に取り組むことができている	他者の意見を聞いて、違いがあることを理解できている	自分の考えや気持ちを一方的に伝えることができている
ステップ1	一緒に取り組んではいないが、単独で取り組むことはできている	他者の意見を受け入れないが、自分の意見を伝えることができている	伝えるまではいかないが、自分の考えや気持ちを持つことができている
育むために	つながり力を高めるために、他者と協働して取り組む場面を設定し、友だちと力を合わせている様子を認めてあげることが大切です。		

学び力			
定義	興味関心を広げ、意欲的に学ぶ力		
目指す姿	様々なことに興味関心を持つことができる (興味・関心)	疑問や不思議に感じたことを解決するために行動することができる (課題解決)	学びや経験を新しい考えや行動につなげることができる (振り返り力)
ステップ4	興味関心を持った物事についてさらに探求することができている	問題解決のために適した手段を取り、解決することができている	学びや経験から新しいことへ発展・創造することができている
ステップ3	もっと様々なことに興味関心を広げることができている	疑問や不思議に感じたことを解決するために行動することができている	学びや経験を新しい考えや行動につなげることができている
ステップ2	自分の好きなことから興味関心を広げることができている	出会った様々なことに疑問や不思議を感じる事ができている	振り返りによって学んだことや経験したことを言葉にできている
ステップ1	自分の好きなことには興味関心を持つことができている	目の前のことに疑問や不思議を感じる事ができている	体験したことを振り返ることができている
育むために	学び力を高めるために、子どもの興味関心につながるような場を設定し、課題に取り組んだり、自分を振り返っている様子を認めてあげることが大切です。		

★ 4つの力のステップ下段には、「育むために」として、子どもたちが非認知能力を高めていくために、大人側が大切にしていきたい内容を示しています。